

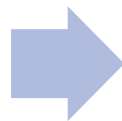
科研費における オープンアクセスの対応

2025年7月25日

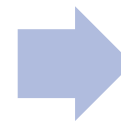
K3c「研究情報の管理・利活用」タスクフォースTF

rdm-group@gl.cc.uec.ac.jp

2025年、
科研費の申請が
採択された！



研究成果を
論文にまとめて
学術雑誌に
投稿した！



査読を経て
論文が
掲載された！

令和7(2025)年度から新たに公募を行う科研費の助成を
受けて執筆した学術論文と根拠データは、

即時オープンアクセス(OA)

(論文掲載後直ちに、無料で誰でも利用できるように公開すること)が、義務付けられています。

しかし

**すべての論文・論文の根拠データの公開が
義務づけられているわけではありません！！**

即時オープンアクセスの対象

令和7（2025）年度から新たに公募を行う科研費の助成を受けた

- 電子ジャーナルに掲載された査読済み**学術論文**
（著者最終稿を含む）
- 掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等により公表が求められるSupplemental Data等の**根拠データ**

※公表を前提としていないデータは含まない。従来公開していなかった研究データの公開を新たに求めるものではない。

即時オープンアクセス義務化への対応方法

学術論文・根拠データを

(その1)
電子ジャーナルや
分野別リポジトリ上で
すでに
公開している場合

**科研費実績報告書に、
論文・根拠データのDOI／URLを記載**



義務化クリア

學術論文

機関リポジトリ (C-RECS) に登録

※登録支援ツールとして、

UEC Open Research Portal の 利用を推奨

根拠データ

研究データ管理専用ストレージ

open-data-hub に登録

※open-data-hubは、GakuNin RDMにマウントして 利用

義務化
クリア

科研費実績
報告書に
根拠データの
URLを記載



義務化クリア

即時OA方針に関するFD研修 開催案内

- 日時：2025年8月1日（金） 15：00-16：00
- 方法：Zoomによるオンライン配信
後日、動画をアーカイブ配信予定
- 対象：本学教職員
- プログラム
 - 開会挨拶：西岡理事
 - 即時OA義務化の内容と本学の対応方針について：狩野副学長
 - OA・研究データ管理に関するご案内
 - 質疑応答

補足資料

即時オープンアクセスの期限

機関リポジトリ等での公開は、学術雑誌への
掲載後 3 か月程度（＝手続きに要する期間）が目安

※現在のところ、即時OAの実施が困難な場合は、各年度の実績報告に、
困難な理由を報告すればOK。

即時オープンアクセスが困難な理由（複数選択可）



- a. 出版社や雑誌のポリシーでエンバーゴ期間の規定が存在
- b. 出版社や雑誌のポリシーが存在しない又は不明瞭
- c. 既存の研究費を圧迫しない範囲での転換契約やAPC支払いの活用が困難
- d. その他（自由記述）



エンバーゴ期間が終了するなど、
OA化が可能となったらOA化する

学術論文のオープンアクセスの方法

学術雑誌を通したOA（ゴールドOA）

OA論文を掲載している学術雑誌に著者側が**APC（Article Processing Charge:論文掲載公開料）**を支払って論文をオープンアクセスにする方法。

機関リポジトリ等を通したOA（グリーンOA）

研究者自らが自著論文を機関リポジトリや分野別リポジトリ等に登録し、（セルフアーカイブ）**無料**でオープンアクセスにする方法。原則APCの支払いは発生しない。多くの場合、著者最終稿（査読済み最終稿）を登録することになる。

※機関リポジトリは、大学や研究機関が生産する研究成果や学術資料をデジタル形式で収集、保存、提供するためのオンラインシステムです。本学では、C-RECSを整備しています。C-RECS <https://uec.repo.nii.ac.jp/>

※オープンアクセスに関するルールは、出版社ごと、学術雑誌ごとに異なるので、それぞれのルールの確認が必要です。

参考資料

- 電気通信大学OA・RDM支援サイト
「オープンアクセス・研究データ管理支援」
<https://www.uec.ac.jp/research/activity/rdm.html>
- 内閣府「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf
- 内閣府「研究DX」
<https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyudx.html>
- 日本学術振興会「科研費における論文のオープンアクセス化について」
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/08_openaccess/index.html
- 日本学術振興会「科研費における研究データの管理・利活用について」
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/10_datamanagement/index.html

問い合わせ先

学術国際部 学術情報課

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/qQQVND2skYeCURs98>

メールでのお問い合わせ

rdm-group@gl.cc.uec.ac.jp